

The Akita University Post



Thursday, April 3, 2014 新入生歓迎号

TAKE FREE

発行 AUP秋田大学報道局 〒010-8502 秋田市手形学園町1-1 mail: aup@live.jp

Давайте изучайте русский язык!

(ロシア語を学ぼう!)

本学では英語以外に様々な外国語を学べる。ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、朝鮮語など(シラバス順)である。どの言語を選択するか迷っている人も多いだろう。今回は私自身も選択し、冬季五輪で話題となったロシアを取り上げる。



笑顔で授業に臨む長谷川先生。

工学資源学部2年の女子学生は、必修ではないが受講した。宇宙開発に興味がある彼女。アメリカと並び宇宙開発が盛んなロシアの事を学ぶため、選択したそうだった。文字が変わっている事で一見大変そうに見えるロシア語。だがそれは覚えてしまえば問題ない。受講した学生も、小テストや復習を重ねる中で少しずつ覚えていけたと話す。教育文化学部2年の女子学生はチェブラーシカ(※)の雑貨に書かれている文字が読めた事で

それを実感した。授業を担当する長谷川章教授(ロシア文学・文化論)は大学時代に受けたロシア語の授業を参考にしているという。出来るだけわかりやすく教える事を一番に心掛けている。教科書の問題の応用でも、不規則な変化や難しい単語は避ける。高校時代ヨーロッパの文学や歴史に関心があつた先生。当時ロシアは冷戦の真っ最中で、今より情報が少なかった。色々ありそうな所に惹かれて、ロシア文学を専攻し

た。教員になり学生に興味を持って貰うため授業で映画やアニメを紹介するようになった。それから先生自身も次第に文学から関心を移していった。特にソ連時代の作品は収益に関係なく作られている。「その分時間がかけられていて作りが丁寧」と先生は話す。中でもアニメは言葉が分からなくても楽しめるそうだった。先生のアンケートによれば「分からないから」「変わっているから」という理由で選択する学生が多い。授業ではロシア語はもちろん、ロシアの映画やアニメの紹介もある。そのため、学生は親しみをもちやすい。また先生のロシアでの体験談は国民性や文化を垣間見る事が出来る。異文化に触れる機会の一歩にしてみてもどうだろうか。(石田圭織)

「地元の方言ってどんな感じ?」。高校までとは違い、広い範囲から多くの人が集まる大学。日常会話において、方言に限らず出身地の話題になることは少なくない。秋田でも言葉の使い方や抑揚には、県北・県央・県南など、地域によって違いがあるだろう。4年間を通して秋田を満喫する。進学が決まった直後に、私が立てた目標の一つだ。何らかの縁がありつながりを持った地で、一つでも多くのことを学びたい。そう意気込んでから早くも1年が経つ。一方、離れたことで、初めて故郷を強く意識するようになった。愛着や誇らしさを実感すると同時に、知らないことの多さに気づき始めた。地元の方言すら、ろくに話すことができない自分。この発見は私に新たな目標をもたらした。知らないことを埋めていく。故郷の魅力を伝えられないもどかしさを知ったのだ。これからは、秋田、そして地元への愛を深めていきたい。秋田を「第二の故郷」と呼べる日まで。(山口詠末)

AUP 新入部員募集中

一緒に学生新聞をつくってみませんか?
写真やデザイン、営業まで活動範囲は無制限
連絡は→ aup@live.jp まで

ブログやってます
(ツイッター・ラジオも絶賛更新中)

秋田のアルバイト・お仕事探しは
ワーキングで

ワーキン Workin

フリーペーパー・WEB・モバイルで
情報発信中
初めてのアルバイトも応援します!

毎週火曜発行/更新



プロフィール (しらいわ ひさのり)
 秋田県秋田市出身。1986年秋田大学教育学部(当時)に入学。大学時代は硬式テニス部に所属し、部活動に明け暮れる毎日を送っていた。学習塾や生花店での勤務を経て、現在に至る。秋田自動車学校で指導員として生徒への教習を行うと同時に、教習指導員を志す人々への講習を担当している。趣味は読書で、最近は時代小説を愛読している。

「何でも相談してほしい」

自動車学校教習指導員

白岩久知さん

新人生では、この春から自動車免許を取得する人も多いだろう。その際お世話になるのが、教習指導員の方々だ。今回は秋田自動車学校で、本学のOBである白岩久知さん(48)にお話を伺うとともに、これから自動車学校へ入校する人へのメッセージをいただいた。

白岩さんは1986(昭和61)年に秋田大学教育学部(当時)へ入学。大学卒業後は4年間、学習塾で教壇に立つとともに、電話営業を行っていた。その後転職し、28歳で教習指導員となった。学生時代は教師を志して

いたこともあり、同じ「教える仕事」へ興味を持ったことがきっかけだった。「おかげさまで、無事故・無違反です」。卒業生に会った時、そう言われるのが嬉しい」と白岩さんは教習指導員の醍醐味を語る。

自動車免許は、就職活動や生活する上で「持っている当然」と考えられている。しかしその認識の強さは、時に教習生への圧力となる。技能教習が上手くいかず、足が遠のいてしまう教習生もいる。不安や悩みを相談してほしいと白岩さんは思うものの、上手くはいかないという。教習生が遠慮してしまうからだ。白岩さんは「何でも相談してほしい。気軽に声をかけてくれていいんだから」と呼びかける。

「車は便利で楽しいもの。練習で自信をつけてほしい」という思いから、白岩さんは率先して、自由練習を再開している。技能教習で悩む生徒への、検定合格を目指した練習だ。自由練習には、自らの休日を利用しての練習が上手いはず、足が遠のいてしまう教習生もいる。不安や悩みを相談してほしいと白岩さんは思うものの、上手くはいかないという。教習生が遠慮してしまうからだ。白岩さんは「何でも相談してほしい。気軽に声をかけてくれていいんだから」と呼びかける。

現在白岩さんは教習指導を行うと同時に、新たな

に教習指導員となる人への講習を担当している。教習指導員としての力は、どうすれば身に付くのか。「教える仕事」はいつも試行錯誤だ。その試行錯誤の中で、自身

が育てられているようにも感じるといふ。白岩さんは今年も、教習生とともに歩んでいく。
 (佐々木里帆)

秋田自動車学校をはじめ、秋田市内にはいくつもの自動車学校がある。いつから、どこに通うか。通学か、合宿か。自分のスケジュールを考慮することが必要だ。自動車学校は大学生協であったとしても、疑問や不安は相談し、自分に合った学校を選んでほしい。



▶教習を行う白岩さん。運転の楽しさを知ってほしいと話す。

編集後記

1年前、はじめての秋田で大学生活を始めた私は、戸惑うばかりで緊張の連続でした。思えば先輩や友人の力がなければここまで充実した生活を送ることはできなかったと思います。

さて、春は別れの季節です。今年はAUPからも3人の4年生が巣立っていきます。読書が好きで文章が得意な菊池友希子さん。いつも頼れる姉貴分、岩佐美希さん。そしてわれらが代表、濱田俊太郎さん。楽しいこともつらいことも、本当にいろいろありました。サークルから抜けてしまふのはさみしいですが、今以上のご活躍を心より期待しております。

そして、春は出会いの季節でもあります。新たな友達が増えるかもしれません。新人生の方は大学で出会う人たちの期待と不安が胸がいっぱいなのでは。そんな新人生のみなさんを、我々AUPは新聞発行を通して応援し続けています。新聞では大学内外に関する話題を掲載しています。ぜひまた手に取り、読んでいただければ幸いです。
 (松田眞生)

秋田のアルバイト・お仕事探しは「ワーキン」で

毎週 火曜発行

フリーペーパーで手軽に。秋田大学生協、書店、コンビニ、秋田駅構内、スーパーマーケット、飲食店等に設置(持ち帰り自由)

WEB・モバイルで、いつでもどこでも。
<http://akita.workin.jp>

ワーキン 検索

ワーキン Workin Workin.jp